

市況みとおし

豚枝肉(10月~12月まで)

(岡山県大阪経済事務所みとおし)

—価格はほぼ横ばい—

豚の枝肉は大体の傾向としては、産地の飼畜頭数が一時のピーク時より下り、事業団の買入れも中止せられた。従来の買入れ数は大体 11 万頭と言われていたが、どうにか相場も落付いて保合状態を辿っている。今のところ連日 5—600 頭程度のと殺頭数であるが、この頭数が幾分でも増加すれば相場も下押し、少なくなれば持ち直すと言った状況である。また事業団の既買入れ分が放出されると、それをいや気して下げるなど、非常に鋭敏な影響を受けている。これには相場に底力がないこと、即ち実需の一般消費が伸び悩んでいることが取り上げられる。しかし今のところ大した条件が発生しない限りは大体保合いと見てよかろう。なお今後の見通しは、昨年 9 月の中値平均相場は 251 円。10 月が 244 円、11 月が 234 円、12 月は 215 円であり、と殺数はそれぞれ毎日平均 9 月が 451 頭、10 月が 491 頭、11 月が 591 頭で 12

月は 709 頭となっており、今年は今のところ 10 円から 30 円がらみの高値をなっているが、と殺頭数は 50 頭から 100 頭程度今年が多い現状である。今後の入荷量の見通しは、産地側の換金売りなどで一度に押しかけないかぎり大した増加も考えられず、また入荷量の減少もあまり期待出来ないの、消費と出荷の面から考えて大体横這いと見るべきで、その間における一時的な変動はあるとしても、基調は変らないものと見るべきであろう。特別の悪条件のない限り大した値下げも考えられない反面、高値が続くと末端消費売れ行きが鈍るため、勿論長続きすることは考えられない。従って大した変動もなく現状が横這いするか幾分下げの場面が予想されるのではないだろうか。

ブロイラー

10月に最高、高水準ながら春にかけてジリ安か

市況予想 10月~3月

今年上半期のブロイラー羽数は一般に、昨年夏場の安値が影響して、多少手控えが見られ、加工連の取り扱い羽数からすれば昨年同期の 90%弱に止っている。恐らく全国的にも飼育羽数は余り増加していないものと推量される。従って需給バランスも略々適当かないしはやや不足気味であり、例年の夏場における供給過剰の事態も回避され、相場においても、

5月中旬から7月上旬にかけて、大阪市場がキロ当り 190 円程度まで落ちてとまり、8月中旬から緩慢ながら上げ歩調をとっており、先ず順調な推移であった。

今後の動向は 7 月以降のブロイラー素雛供給が、めす雛の売行不振による抜雄の生産不十分と、酷暑による授精、孵卵歩合の不良による専用鶏種発生数

岡山畜産便り 1962.10

不足等の理由により、十分な入雛が出来ず、9月下旬から10月一杯にかけてのブロイラー供給は品薄となり、相場も260円程度まで上昇するものと判断される。11月、12月のブロイラーについては、対応する入雛手当が可成り強く行なわれているから、羽数は増すものと思われるし、逆に需要においては一般経済の金詰り等のためクリスマスの特需も例年の如くには期待出来ないので、相場は10月から横ばいか、むしろやや低下して240円程度に戻るのではないかと期待している。

なお明春の動きは供給とも秋びなを中心に益々円滑になり、飼育者の規模拡大も行なわれ、相場は1月中旬以降漸次下り、2月、3月は、210円程度まで落ちると考えられる。ただ年々飼育者の移動交代が激しい傾向にあったが、次第に固定化、専門化の傾向が強まりつつあるから、ブロイラー需給、ひいてはブロイラー価格も安定度を増して行くのではないかと期待している。

廃 鶏

冷蔵手持多く高値のぞめず

廃鶏は年度頭初より、飼育羽数が増したのと、卵価が予想以上に低く又農村部の少羽数養鶏が人手不足や採算割れなどで次第に淘汰され、廃鶏の市場出荷が多かった。なお5月、6月は多雨に悩まされ、7、8月は酷暑が続いたので廃鶏淘汰が急増し、加工面では冷蔵保管が増大しており、需要はチキンラ

ーメンがまだ買入れを始めていないなどの理由で、相場も春を除いてはキロ当り140円を前後し、冷蔵ものの出庫も見当が立たずにいる。加工連も例年にならない大量の冷蔵ものを保管している。

(岡山県養鶏加工連みとおし)

お知らせ

「食肉卸売市況」の放送開始

農林賞は37年度から「家畜、畜産物取引数量、価格調査事業」として、社団法人日本食肉協議会に委託して各食肉中央卸売市場の市況を調査しているが、その結果をつぎの要領で短波にのせて放送することになった。

放送局 農林放送事業団
放送電波 3925kc 6055kc 9555kc

放送担当者 農林省
放送時間 毎日午後5時40～55分の15分間。
(7月29日以降)
放送内容 「畜産物市況」として大宮、横浜、名古屋、広島、福岡の各食肉中央卸売市場における市況概況、入荷および取引状況等について。